

科目	学外実習 (Practical Training in Factory)		
担当教員	宮下 芳太郎 准教授		
対象学年等	応用化学科・4年・前期・選択・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	C2(50%) D1(50%)	JABEE基準1(1)	(b),(d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(g)
授業の概要と方針	企業またはその他の受け入れ機関で業務の一部を実際に経験することによって、技術者に必要な人間性、倫理観を養うとともに、工学技術が社会や自然に与える影響に関する理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C2】実習機関の業務内容を理解し、実習先での具体的な到達目標を達成する。		実習機関の業務内容を理解し、実習先での具体的な到達目標を達成したかどうかを実習証明書と実習報告書で評価する。
2	【D1】実習を通じて工学技術が社会や自然に与える影響に関する理解を深める。		実習を通じて工学技術が社会や自然に与える影響に関する理解を深めたかどうかを実習報告書と実習報告会で評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	実習証明書、実習報告書および実習報告会の内容により単位を認定する。		
テキスト			
参考書			
関連科目	特になし。		
履修上の注意事項	実習機関に受け入れを依頼して実施する科目なので、節度をもって行動するとともに、健康管理、安全管理に留意して真剣に取り組むこと。		

授業計画1 (学外実習)

内容(テーマ, 目標, 準備など)

準備と流れ

- 1) 実習先を検討する(職種, 場所, 実習期間など) .
- 2) 実習先を調査し決定する .
- 3) 実習に必要な手続きを行う(実習先により異なる) .
- 4) 実習先において実習する(夏季休業中) .
- 5) 実習報告書を提出する .
- 6) 実習報告会で実習内容の報告を行う .

備考

中間試験および定期試験は実施しない .